

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。 ※  内は、ロットNo.表示位置を示します。

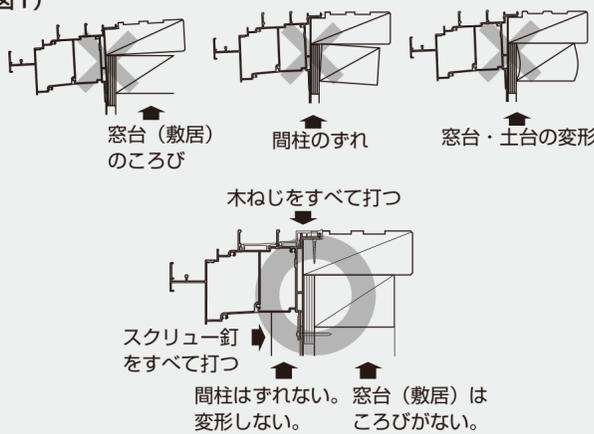
■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 思わぬケガをする場合がありますので、下記事項をお守りください。
 - ・本製品は複層ガラス使用の場合、組立て後の製品重量は最大で約80kgになります。施工は対応する人数で行ってください。
- 障子脱落のおそれがあるため、下記事項をお守りください。
 - ・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。サッシ下枠が垂下がり、障子が落下するおそれがあります。(図1)
 - ・必ず指定のスクリーュー釘・木ねじで枠を固定した後、障子を建込んでください。
 - ・開口部を付け枠でふかす場合は、一体物と同じ強度になるように取付けてください。
 - ・躯体取付けねじは必ず釘を固定した後に締付けてください。下枠が外側にこぼり、障子が脱落するなどの不具合が発生することがあります。
 - ・障子の建込み・調整後、必ず外れ止め調整ねじを上げてください。障子が落下するおそれがあります。
- 漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。(図1)
 - ・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。(本文中の図参照)
 - ・鏡板戸袋タイプの場合は取付け後、戸袋皿板・戸袋屋根・戸袋側上部ジョイントブロックの指定個所に必ずコーキング材を充てんしてください。
 - ・側板ブラケットは柱などの構造体又は補強した個所に取付けてください。
 - ・外壁材の上から側板ブラケットを取付ける場合は、φ3.3以下のドリルで下穴をあけ、コーキング材を充てんしてから木ねじで固定してください。(最大壁厚 40mm)



■取付け上へのお願い

- 必ず指定のねじで枠を躯体に固定した後、障子を建込んでください。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズ付いたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 戸袋は仮止めの後、必ず戸袋皿板の水平を出してから固定してください。
- 施工前に樹脂形材が外れている場合は樹脂形材をはめ込んでから取付けを行ってください。アングル波打ちの原因となるおそれがあります。

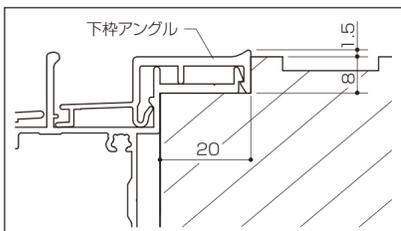
■取付けねじ一覧表

①  皿木ねじφ3.1×20	②  丸木ねじφ3.1×20
③  段付き皿木ねじφ3.8×32	④  パインドタッピンねじφ4×35
⑤  スクリーュー釘φ2.1×32	⑥  トラスタッピンねじφ4×65 (鏡板なしタイプのみ)

■取付け順序

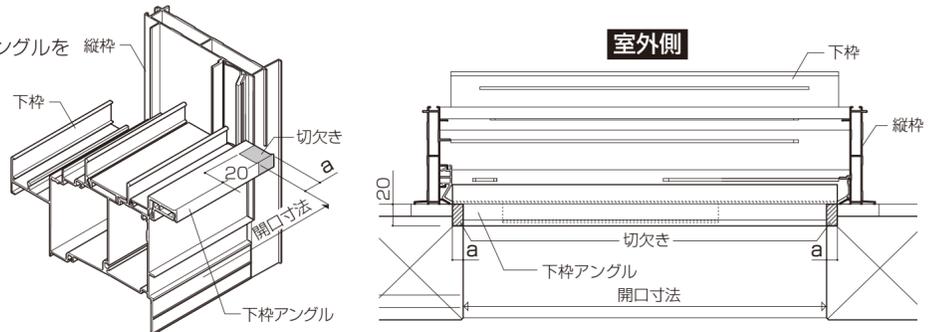
1 躯体の加工

●窓台(敷居)に下枠アングルの取付け溝を掘込みます。



2 下枠アングルの切断

●開口部に合わせて下枠アングルの切欠きを切ります。

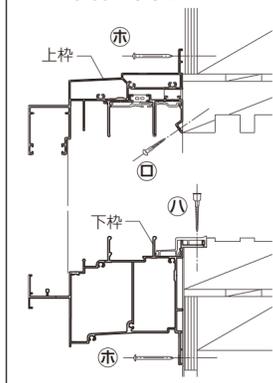


【鏡板戸袋タイプ】

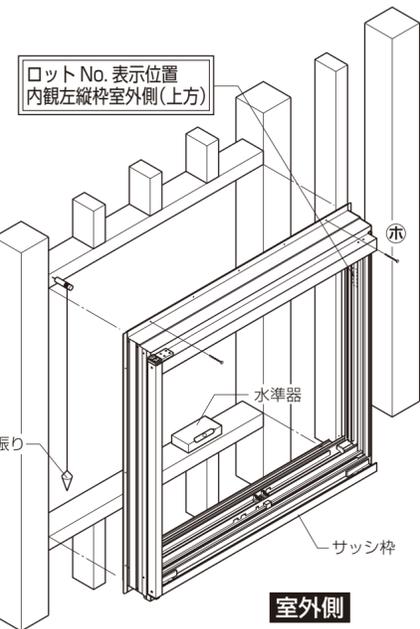
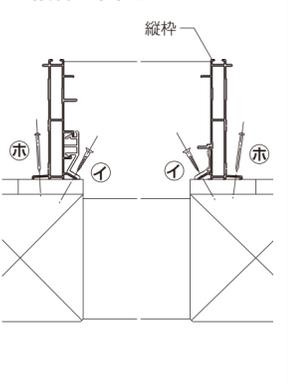
3 サッシ枠の固定

①開口部の水平・垂直を確認し、サッシ枠を仮止めます。

■上下枠の固定



■縦枠の固定



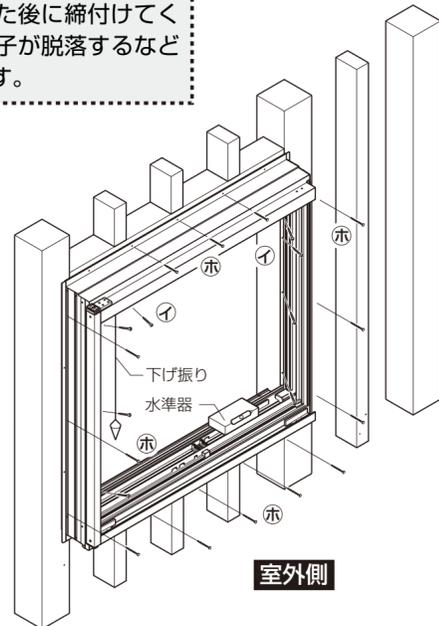
②下げ振り・水準器でサッシ枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。

▲注意
●躯体取付けねじは必ず釘を固定した後に締付けてください。下枠が外側にこぼり、障子が脱落するなどの不具合が発生することがあります。

※躯体と下枠の間にすき間が発生した場合は、必ずかい物などで調整してください。

▲注意

●本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。漏水の原因になるおそれがあります。

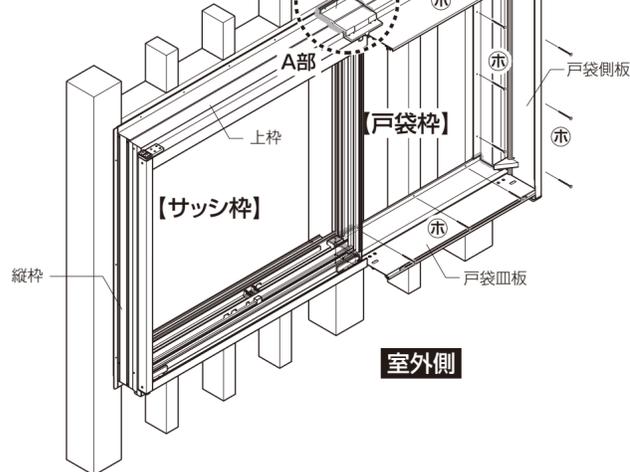


4 サッシ枠と戸袋枠の連結

※組立て説明書を参照してください。

5 戸袋枠の固定

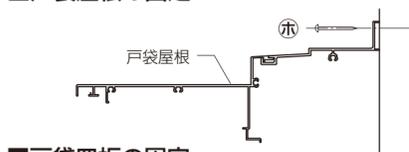
●戸袋枠・戸袋側上部ジョイントブロックを躯体に固定します。



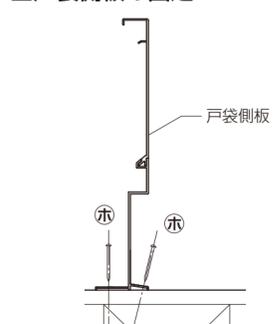
▲注意

●取付け後、戸袋屋根・戸袋皿板・戸袋側上部ジョイントブロックの指定個所( 部)に、必ずコーキング材を充てんしてください。漏水の原因になるおそれがあります。

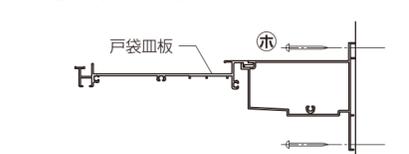
■戸袋屋根の固定



■戸袋側板の固定



■戸袋皿板の固定

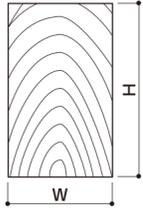


6内張り耐水ベニヤの取付け

- 下表の寸法にしたがって切断し、戸袋枠内部の躯体に釘で固定します。

■外付型

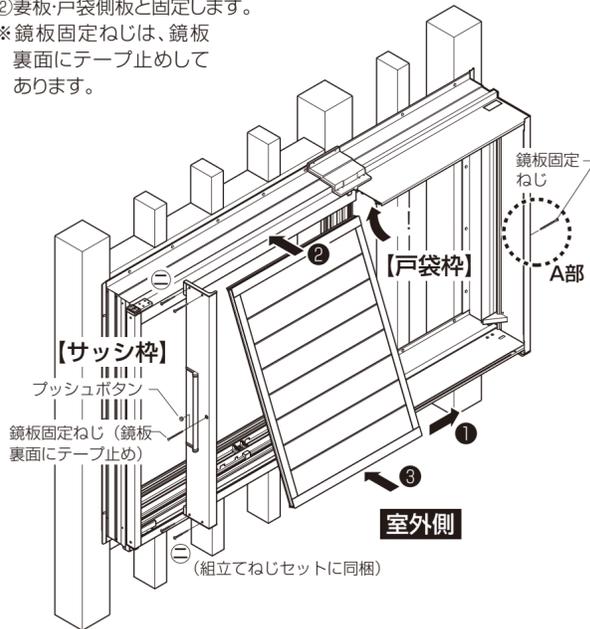
呼称	H寸法
07	763
09	963
11	1163
13	1413
15	1613
18、22M	1863
20	2063
22	2263
22S	2313



呼称	W寸法
063	595
094	910
099	955
102	985
103	1000

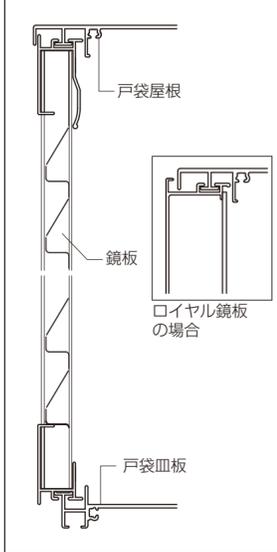
7鏡板・妻板の取付け

- ①鏡板をサッシ枠側から下図の順序で差込みます。
 - ②妻板・戸袋側板と固定します。
- ※鏡板固定ねじは、鏡板裏面にテープ止めてあります。



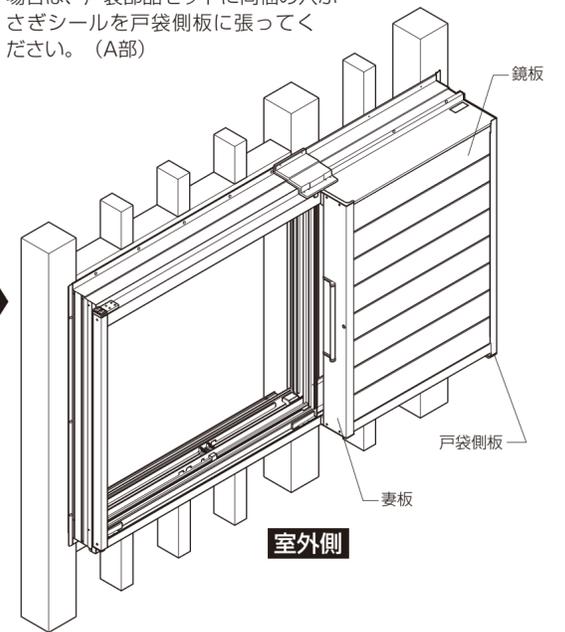
■鏡板の差込み

- ※上枠側から先に入れてください。



8障子の建込み

- ※入隅などのため戸袋側板と固定できない場合は、戸袋部品セットに同梱の穴ふさぎシールを戸袋側板に張ってください。(A部)



【鏡板なしタイプ】

1サッシ枠の固定

- 鏡板付きタイプと同様の順序で取付けます。

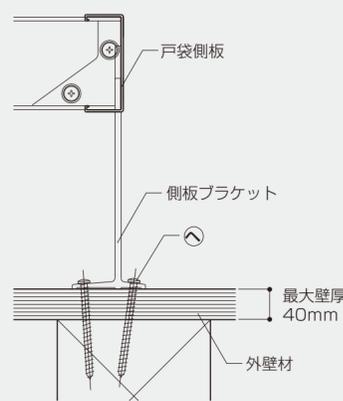
2戸袋枠の固定

- サッシ枠に戸袋枠を連結します。(組立て説明書を参照してください。)皿板の水平を出した後、側板ブラケットを躯体に固定します。側板ブラケットの出幅を調整して戸袋に固定します。

3障子の建込み

▲注意

- 側板ブラケットは、柱などの構造材又は補強した個所に取付けてください。
- 外壁材の上から側板ブラケットを取付ける場合は、φ3.3以下のドリルで下穴をあけ、コーキング材を充填してから木ねじで固定してください。(最大壁厚40mm)



■雨戸の建付けと締め受けの調整

■雨戸の建付け調整

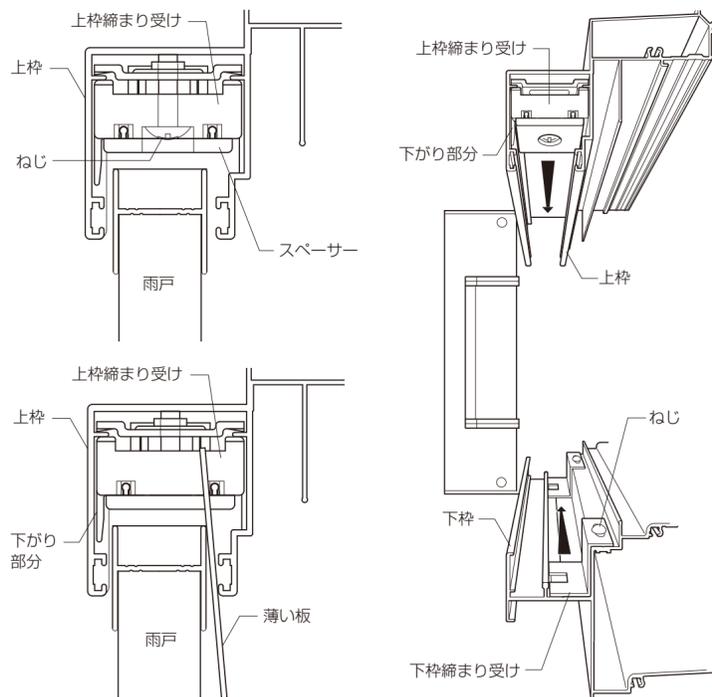
- 雨戸の戸車で建付け調整をします。雨戸が締め受けに当たる場合は、スペーサーをスライドして外します。

■上枠締め受けの調整

- ①上枠締め受けを止めているねじをゆるめ、移動できるようにしておきます。
 - ②雨戸をすべて閉め、締め受けのロッドを上げます。
 - ③直尺などの薄い板を雨戸と上枠のすき間から差込み、上枠締め受けをロッドに当たるまで移動させます。
 - ④締め受けのロッドを下げ、雨戸をあけます。上枠締め受けの位置をずらさないよう下がり部分(右図参照)を指で押え、ねじをかるく締めます。
 - ⑤締め受けのロッドのかかり具合を確認した後、ねじを締めます。
- ※上枠締め受けが動かないように確実にねじを締め付けてください。インパクトドライバーはねじ山を破壊するおそれがあるので使わないでください。

■下枠締め受けの調整

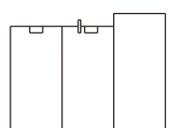
- 下枠締め受けの穴にロッド位置がくるよう、ねじをゆるめて調整した後固定します。



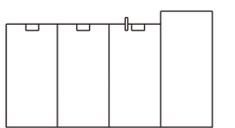
■雨戸外止めの調整

- 雨戸外れ止めが下図の位置になるよう、ねじをゆるめて調整した後固定してください。
- ※雨戸外れ止めは、締め受けと共通部品です。

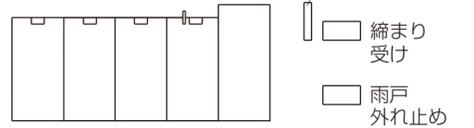
(雨戸2枚建て)



(雨戸3枚建て)



(雨戸4枚建て)



■建付け調整

■戸車調整

- プッシュボタンをいったん外して調整します。(調整後は、プッシュボタンを押し込んでください。)
- ※出荷時、障子は下がった状態にしています。それ以上は下がりませんので、上げたい場合のみ戸車調整してください。

お願い
※召外下部を調整した場合は、召外下部気密ピースも調整してください。(障子を閉めた状態で部品を下げてすき間をなくします。)

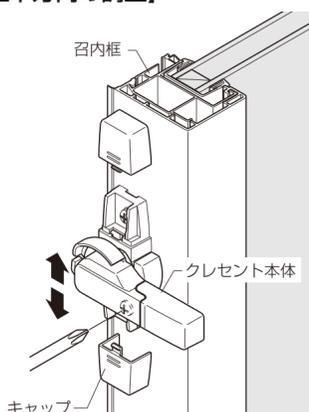


■クレセント調整

【上下方向の調整】(クレセント本体)

- ①キャップを外します。
 - ②プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント本体を上下に動かします。
- ※調整後はしっかりねじを締め、キャップをしてください。

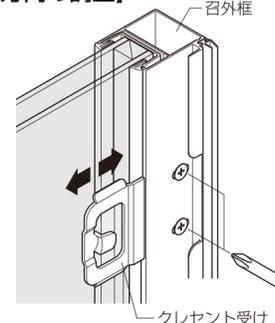
【上下方向の調整】



【左右方向の調整】(クレセント受け)

- プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント受けを左右に動かします。
- ※調整後はしっかりねじを締めてください。

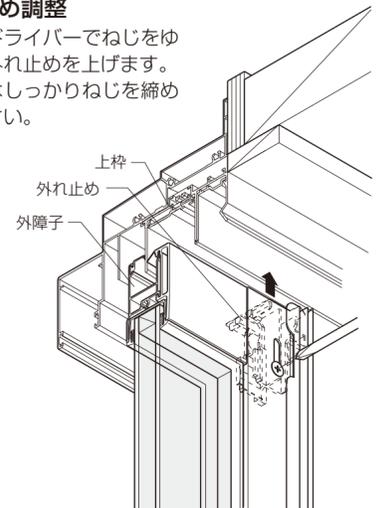
【左右方向の調整】



- ※図はシンフォニーです。デュオPG・SGはクレセント受けの形状が異なります。

■外れ止め調整

- プラスドライバーでねじをゆるめて外れ止めを上げます。
- ※調整後はしっかりねじを締めてください。



▲注意

- 必ず外れ止めを上げてください。障子が落下するおそれがあります。